



市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



参議院議員
たけだ良介



市議予定候補
上田由美子

禁断転載
複写配布

浄化槽維持管理に市が補助

市議会全員協議会で
砂田市議

「知らなかった」の声に応え 周知方法に改善を

「合併処理浄化槽の維持管理に市から補助金が出るのを知らなかった」。
砂田市議は5月20日の市議会全員協議会で市民の声を紹介し、改善を求めました。

下水道使用料との差額を補助

小矢部市は下水道方式と合併処理浄化槽方式を組み合わせ整備することになりました。住宅が近接している地域は下水道方式で、散居村のように住宅が点在している地域では合併処理浄化槽方式で整備します。

合併処理浄化槽で維持管理をきちんとして行うと、下水道使用料よりも割高となるため、その差額を市が補助します。

維持管理には①年1回の法定検査(富山県浄化槽協会が実施)、②年4回の保守点検(浄化槽管理士がいる専門業者に委託)、③年1回の清掃(バキューム車で汚泥引抜)があります。その費用は年間の下水道使用料よりも高くなり、その差額を補填するものです。補助金の額は浄化槽の大きさによって、5人槽は2万4千円、7人槽は2万7千円、10人槽は3万6千円です。

この目的は下水道使用料と合併処理浄化槽方式の維持管理にかかる市民負担の公平化とともに、浄化槽の維持管理をきちんと行い公共用水域の水質を保全するためです。

清掃業者にも周知の協力を

砂田市議は補助制度をつくったことは「他市に例のないたいへん立派なこと」と評価し、これをホームページや『広報おやべ』に掲載したり、親切な作業員がこの制度を知らせたりしているようだが、さらに周知徹底するために清掃業者がチラシをつくるなどして直接該当家庭に知らせよう求めました。

申請に必要な書類が何かを①法定検査結果書の写し、②保守点検結果書の写し、③清掃報告書の写し事前に周知することも求めました。市民のなかには、知らなくてその書類を処分したり

紛失したりして、補助金を受けられない事例もありました。

年度末ギリギリに清掃をして、4月に入ってから補助金の申請したら、年度を過ぎていたからダメと言われたとの声も紹介し、改善を求めました。



「利用方法をわかりやすく周知する」市

市はこれらについて改善を約束し、これまで制度創設のお知らせが中心であったが、市民がこの制度を利用するにはどうするかをわかりやすく伝えることを検討したいと答えました。

共産党と後援会 北陸信越交流決起集会

上田由美子さんが対話活動を発言

5月15日にオンラインで開かれた共産党と後援会の参院選勝利北陸信越ブロック交流決起集会で、富山県からの発言者として、今度の市議選に立候補を予定している上田由美子さんが、市民との対話の中で出された声や党の提案を述べ、支持を広げていると、次のように述べました(写真)。

ロシアのウクライナ侵略

「今の時代にこんな悲惨なことが起こるなんて」

市民の皆さんからロシアのウクライナ侵略について、「早く戦争を止めさせて欲しい」、「今の時代にこんな悲惨なことが起こるなんて、ほんとうに不安だ」、「昔、親に聞いた富山空襲の体験を思い出した」との声が次々と寄せられています。

平和な世界を作り上げるために、日本の憲法9条を変えさせないことを訴えています。そして、ASEAN(東南アジア諸国連合)の取り組みを紹介



生活が苦しい 農家を支える施策を

市民の皆さんから生活の厳しさが訴えられています。小麦など食料品やガソリンの値上がり一方で、農村ではコメの価格が下がっています。「このままでは農業後継者が育たない。営農組合は続けられない」と切実な声が寄せられます。食料自給率をあげるためにも、コメの価格を上げ、農家を支える施策が求められています。

ジェンダー平等をめざして、また非正規で働く人のためにも、最低賃金を一時間1500円に引き上げることが必要です。

これらの願い実現のために、参議院選挙で勝利し、その一カ月後の小矢部市議選で議席を勝ち取るため、全力でがんばります。

